

奄美市立宇宿小学校 ～宇宿稲すり踊り伝承活動の取組～



明治時代から校区で踊られていた伝統芸能で、戦後、「宇宿稲すり踊り保存会」の方々が継承・保存に取り組んできた。現在は、奄美市指定無形民俗文化財、また奄美市認定一集落ブランド（宇宿集落）にもなっている。

本校では、平成5年から「宇宿稲すり踊り」に取り組んできた。「宇宿稲すり踊り保存会」の方々に協力をいただきながら、子供たちだけで発表できるように、アレンジをした踊りの練習を続けている。

宇宿稲すり踊りは、島唄である「稲すり節」、三味線や太鼓・指笛等の鳴り物、踊りの3つのグループで構成されており、島唄や鳴り物の軽快なリズムに合わせて踊る。宇宿稲すり踊りには、人々の豊作や健康、幸せへの願いが込められている。

練習期間中に、「宇宿稲すり踊り保存会」の方を招いて、島唄・鳴り物・踊りの様子を見ていただき、全体で注意しなければならない点を聞いたり、個別指導をしていただいたりしている。特に、三味線の指導については、上達するまでに時間を要するので、夏休み期間を利用して、指導者宅を訪問して指導を受けることもある。